

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 知能機械工学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyomu@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>この授業科目の包括的目標は学修要覧に記されている。以下はそこから抜粋したもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前学期に引き続き、様々な書き方を身につける しっかりした構成で論点の明確なエッセイを書く。 2. 前学期に引き続き、自主的に読んだり書いたりする態度を身につけ、書きことばとしての英語に自信をつける AWEIで身につけたスキル、能力、知識を増強する。 3. 前学期に引き続き、批判的思考に必要となる基本的なスキルを身につける 批判的な読み方（クリティカル・リーディング）を身につける（例：テキストの内容を分析する、しっかりした根拠に基づいているかどうかを判断する、偏った考え方に基いて書かれていないかどうかを判断する）。 テキストを読み、批判的な立場から反論する文章を書く。 <p>なお、このクラスではライティングよりもリーディングの方にやや重点を置く。 （このクラスは通年で授業内容を組み立てているので、後学期も継続して受講することが望ましい。前学期の結果を踏まえて、後学期はレベルをやや高めるだけでなく学習課題も修正を加えることがある。）</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>Academic Written English I</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書等】

1 . Tokyo Wonderland and Other Essays on Life in America and Japan
by Kay Hetherly (日本放送出版協会)

日常的な話題をもとに日米の文化やものの見方の違いを明快に論じたエッセイ集(1篇は約600語)。
エッセイというよりも説明文であり、論理的に話を進めている(通年使用)。

<目次の例>

A Very American Boy / Travels of a Non-Traveler / Leaving Home or Not? / Wet or Dry? / Rude Japanese / "I Do" but I Don't / Trial and Error in Gift-Giving /

2 . 英検準2級予想問題集(旺文社)

基礎知識を確認するとともに、英作文レポートのために用いる(通年使用)。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

英語を読む力を高めるために、各段落自体と段落間相互の関連が緊密な「説明文」を英語の発想や論理に気を付けながら読む。2回の授業で1課を扱う予定。また、英語を書く力をつけるために、問題集で基礎知識を確認したあと収録英文をどのように利用したら自分の表現力となるかを考える。

(b) 授業の進め方：

最初に英検問題集を短時間で解いて「高校中級程度」の知識を呼び覚ます。次に、それがどのような場面でどのような意図を伝えるために書かれたかを考えて知識を活性化する。授業後半はエッセイ集を用いて、基本的な表現には書く力の観点から考察を加えながら、筆者の論理展開を辿り一段落の要点をつかんだり段落相互のつながりを認識する。

(c) 授業時間外の学習(予習・復習等)について

(予習) 黄色のエッセイ集：授業で扱う範囲の本文を読み、各段落からもっとも良く内容をあらわす英文を1つ選んでおく。

(復習) 英検問題集の英文を基にレポートを作成して次回に提出する。添削をしたレポートは返却される。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法 下記の(1)を中心とした総合的評価をする。

- (1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由のない欠席・遅刻は減点評価をすることがある)。
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方・レポートの提出。
- (4) 臨時の小テストや、中間テストをする可能性もある。

評価基準

大学作成の以下の基準に基づく。

100～90点は秀、89～80点は優、79～70点は良、69～60点は可、60点未満は不可。

電気通信大学 平成20年度シラバス

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として計算に入れられるので注意すること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

1. 英語に触れるひとときを生活の中に組み込むことがポイント。
2. 実用的な音声英語の自習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧め。

【その他】